

撮影協力

表紙と裏表紙の写真は
高陽高校・広島国泰寺高校の
生徒たちが撮影！
生徒から見る先生たちは
楽しそうに輝いています！



教員採用Q&A

Q 福利厚生について
教えてください。

A 採用されると公立学校共済組合の組合員になります。医療給付や手当金、退職後の年金が支給される他、住宅等の各種貸付等の福祉事業も受けることができます。また人間ドックやメンタルヘルス相談事業等の保健事業もあります。

Q 通勤により引越しが
必要となった場合、
入居等の相談は
できますか。

A 教職員用の公舎があります。詳しくは採用決定後に教育委員会や学校へご相談ください。

Q 初任給はいくらですか。

A 教職調整額や地域手当、教員特別手当等の諸手当を含めた額が毎月の給料となります。また、給料月額には経歴等に応じて加算されることがあります。他にも、期末勤勉手当（ボーナス）や通勤手当、住居手当等が条件に応じて支給されます。

（例）新卒者の場合（令和4年度）

	大学院修了	大学卒
給料月額（諸手当等含）	259,586	235,592
期末勤勉手当（ボーナス）	844,166	766,542
年額合計	3,959,198	3,593,646

Q 休暇等の制度について
教えてください。

A 年次有給休暇の他、特別休暇及び介護休暇等があります。若年層職員の健康保持等のための厚生計画が導入される等、休暇等の制度が充実しています。

「教員の募集」について
詳しくはこちらをcheck



未来を創る

— 広島で教員として生きる —



広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現

未来を創る

— 広島で教員として生きる —



写真提供: 広島県

教育は、一人一人の子供がそれぞれに自己を懸命に開拓しながら、未来に向かってたくましく生き抜く力を身に付けさせることを目指した連続的な営みであり、「未来」を育てる崇高な仕事です。子供たちの「～できるようになりたい」、「～が分かるようになりたい」という願いや希望に対し、教員は、保護者や地域等、様々な人々と連携・協働しながら全力で応えていく使命があります。広島県の学校で学んだ子供たちが、「広島で学んで良かった」と思える、さらには、全国から「広島で学んでみたい」と思われる「日本一の教育県」の実現を目指しています。

教員ライフ

仕事とプライベートを両立して、楽しく働きたい！
教員のワークライフバランスについて
「ワーク」「ライフ」の2つに分けて紹介します。

WORK

教員ってどんなことを
するんだろう？
教員のタイムスケジュールを案内

小学校の 1日のスケジュール

- 8:15～ ● 児童登校
- 8:15～ ● 朝会・朝学習
- 8:35～ ● 授業
- 12:10～ ● 給食・昼休憩
- 13:10～ ● 掃除
- 13:25～ ● 授業
- 15:30ごろ ● 児童下校
- 放課後 ● 授業準備・研修など



朝会

行事の確認や注意事項の連絡をします。簡単な事務連絡はメールで済ませる等、効率化を図っています。

授業

準備が要です。子供たちが「なぜだろう？」「考えてみたい！」と目を輝かせて学ぶ姿を見ると、大きなやりがいを感じます。

放課後

授業準備の他、環境整備や行事の計画、保護者との連携等、様々な仕事があります。学級経営や生徒指導で悩む時は、周りの先生に相談を。アドバイスがもらえて勉強になります。



LIFE

妊娠や出産・育児等、サポート体制も充実
休暇や休業制度を紹介

妊娠・出産・育児に関する休暇・休業(一部)

出産休暇	出産予定日8週間前から、出産日の後8週間まで(女性のみ)
育児休業	子が3歳に達するまで(給与支給なし)
育児休暇(育児時間)	1日2回、各45分
育児短時間勤務	週19時間25分～24時間35分の短時間勤務(勤務時間に応じて給与支給)
早出遅出勤	1時間30分の範囲内で勤務時間を繰上げ・繰下げできる。

※令和4年4月現在。上記以外の制度についてはHPをチェック。

育児と仕事を両立できます。
男性の育児休暇・休業取得も
増えています。



仕事と子育て両立
のためのハンドブック
詳しくはこちら



充実した キャリアサポート

広島県教員等資質向上指標に基づき、様々な研修を実施。
同期や仲間と共に、夢や目標に向かって自身を高められる環境が用意されています。



研修や講座はオンラインや対面等、
感染症対策を行い利便性も追及

最初のサポート

初任者研修(法定研修)

新規採用者(1年目)を対象に、校内研修と校外研修を実施します。校内研修は、示範授業や授業参観、一般研修(授業)、一般研修(授業以外)を行います。校外研修は、15日から17日間、教育センター等で研修を行います。

改めて学ぼう

2年目・6年目研修

授業づくり等に必要の基礎的な知識・技能を身に付け、専門性を高めます。授業づくりに加え、カリキュラムマネジメント等を経験年数に応じて身に付けることができます。

専門知識を極めよう

教科の専門性に係る研修

専門性や授業力を更に向上させる研修です。地域や校内における指導的役割を担う人材や、教科指導のリーダーとなる教員を育成します。

経験を積んでレベルアップ

中堅教諭等資質向上研修(法定研修)

教諭キャリア10年を節目として、教科等の専門性や授業を改善する力を更にアップします。教育センター等で8日間、さらに校内において、12日～20日間の研修を実施します。

組織をまとめる力

マネジメントに係る研修

学校組織における必要なマネジメント力等の育成を目的とした研修です。学校の管理運営や経営、教育推進における様々な課題解決に向けた指導力向上を図ります。

知りたいことを学ぼう

教育センター専門講座(学びプラス)

教育センターでは様々な講座が開設されており、学校や教職員一人一人のニーズに応じて受講できます。未来を見据えた学びを探究し、校種の垣根を越えて、仲間と共に充実した時間を過ごせます。

広島県の学校における働き方改革

詳しくはこちら



「すべては子供たちのために」をモットーに、子供たちに質の高い教育活動を行うことを目指しています。教員が業務に専念できる環境の整備や、プライベートと仕事が両立できるサポート体制の充実等、様々な取り組みを進めています。

「働き方改革」 取組事例

①一斉閉庁日 の実施

夏休み期間中等に一斉閉庁日を設け、休暇等の取得を促進しています。

②スクール・サポート・ スタッフの配置

印刷業務や資料・書類整理等の教員業務を補助するスクール・サポート・スタッフの配置を増やしています。

③校務支援システム等 ICT活用促進

児童生徒等の学籍・出欠・成績といった情報を統合的に管理する統合型校務支援システムを導入する等、業務の効率化を進めています。

文部科学省「令和4年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」

一斉閉庁日の設定
広島県100%
(全国平均 98.7%)

教員業務支援員の活用
広島県100%
(全国平均 81.9%)

ICTを活用した校務効率化
広島県100%
(全国平均 84.1%)

広島県(県教委及び23市町教委)が全国平均を上回った調査項目 **53項目中43項目**

※調査対象：学校の教職員の服務監督をするすべての教育委員会(回答数1794)・取組を行っている自治体の割合



「何のために学ぶの？」を問い続ける

広島版「学びの変革」の更なる加速に向けて

「生きるって何？」を問い続ける

広島県は全国に先駆けて、教育改革「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を進めています。「生きるって何？」「何のために学ぶの？」といった「本質的な問い」を軸に、子供たちの探究的な学びを大切に授業づくりに取り組んでいます。未来を担う子供たちを育てるために取り組んでいる、広島の特徴的な教育活動を紹介します。

探究的な学びの充実

これからの社会を生きる児童生徒が、生涯にわたって学び続け、答えのない問いに立ち向かっていくためには「探究的に学ぶ力」が必要です。その力を育成するために、実生活・実社会から児童生徒が自ら課題を見つけ、その解決に向けて探究し、解決策を社会に提案・発信していく「プロジェクト型学習」に取り組んでいます。

1 郷土に学び 未来を拓く

竹原市立吉名学園では、「YOSHINA未来学」(生活科・総合的な学習の時間)を中心とした探究的な学習をとおし、「拓く力」(英語力、ICT活用能力、プレゼンテーション力)の育成を目指しています。「YOSHINA未来学」では、子供たちの「やりたい」「なんとかしたい」という思いを基に単元のゴールを設定することで、子供たちの「本気」の学びを引き出しています。



多様な人々と協働して課題解決に取り組む上で、ICT活用能力やプレゼンテーション力は不可欠です。デジタル機器等を活用して、アンケートを実施・分析したり、自分たちの意見を分かりやすく資料にまとめ、発表したりしています。



子供たちは様々な失敗や困難と出合います。しかし、そこから得た学びを生かし、再挑戦する場を大切にしています。

2 県立高校における探究プログラム

県立商業高校4校では、「生きるとは」「ビジネスとは」という本質的な問いを柱に自分の将来やビジネス社会との関わりについて考える「ビジネス探究プログラム」の開発・実践に取り組んでいます。県立工業高校4校では工業を学ぶ意義や価値を話し合い、企業と連携して実社会の課題の解決にもつくりで挑戦する「工業探究プログラム」の開発・実践等に取り組んでいます。



商業高校



工業高校

3 遠隔授業で探究的な学びを実現

県内12校のモデル校に遠隔教育システムを導入し、各学校で、そのシステムを活用し、地域を超えて専門性の高い授業や多様な人々との交流学習に取り組んでいます。質の高い教育機会の提供や、探究的な学びの実現につながる教育活動を展開しています。



日影館高等学校

個別最適な学び～多様な「学びの選択肢」の提供～

児童生徒一人一人の学習進度や能力、関心等に応じて、多様な学びの選択肢を提供しています。全ての児童生徒が基盤的な学力の習得も含め、主体的に学び続けることを目指し、「個別最適な学び」に取り組んでいます。

1 学びに「選択肢」と「自己決定」を!

廿日市市立宮園小学校では自由進度学習を行っています。最初に学習計画表を児童と共有し、それを軸に、自分のペースに応じた「マイ時間割」を作成します。教科書、プリント、学習コーナー等の多様な選択肢から自分に適した学び方を、児童自ら選択・決定して学んでいきます。途中、児童同士で教え合ったり、教員が状況に応じて個別にフォローする場合があります。児童がスムーズに学習を進めていけるよう教師が力を入れるのは、教材研究、特に学習計画表や学習コーナーの作成です。



- ①「マイ時間割」を基に、自分で選んだ学習方法で自分のペースで学習を進めます。
- ②友達同士で教え合う等、協働的な学びで学習をより深めていきます。

2 個々の状況に応じた学びを支援



- ①リラックスした雰囲気の中、好きなことや得意なことを見付ける、児童生徒のチャレンジの場です。
- ②状況に合わせてオンラインでつながることもできます。

児童生徒の個々の状況に応じた学びの支援の一つとして、広島県立教育センター(東広島市)内に拠点を置く「SCHOOL“S”」を令和4年4月に開設しました。主に集団での学習になじめない不登校等の児童生徒を対象にした「学びの場」です。思わず手にとりたくなる本や図鑑が揃っているプレイルーム、かわいく装飾されたロビーや学習室、オンラインで情報発信する場となるスタジオS等が完備され、新たな学びの在り方の一つとして、児童生徒を支援しています。

特別支援学校における学びの変革

県立特別支援学校では、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズや障害の特性等に応じた指導・支援の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を促す教育活動を推進しています。

「地域協働」で自信と意欲を!

庄原特別支援学校では、小学部生活単元学習「お祭り」に地域の方を招待したり、高等部作業学習で地域の大型店舗で販売会を行ったりする「地域協働学習」に取り組んでいます。地域に貢献することで、個々の学ぶ意欲や自己肯定感を育てています。



- ①地域の方と一緒に祭りを考え、実行することで意欲や自信を高めます。
- ②自分たちが作った野菜やお菓子を販売し、働くことのやりがいを学び自己肯定感を得ています。

先輩からの “メッセージ” Message

現役で活躍する3人の先輩にインタビュー。

広島でしかできない経験や先生の魅力、楽しさを教えてくださいました。きっと先生を目指したくなるはず！

インタビュー

大窪シゲキ

ラジオDJ。中高生を応援するラジオ番組
広島FM『大窪シゲキの9ジラジ』
[(月～木曜)20:00～22:00]に出演。



恩師からの一言で
未来が開けた

間 健太 教諭

世羅町立世羅中学校 / 教員1年目



— 先生になろうと思ったきっかけを教えてください。



中学3年生の時、校長先生と進路について話をしていたら、「お前は教師に向いてるぞ」と言われたのがきっかけです。その一言で自分の未来が開けたんです。「人に勉強を教えるというのは、教師の一番の仕事だし、大切な能力だ。でもそれ以上に大切なのは、どれだけ人を思いやれるか、人のことを思って行動ができるか。そのためには、苦しい思いや悲しい思い、辛い思いをたくさんしてきた人こそ、人の痛みがわかるし、人の支えにもなってあげられる。その力がお前にはある」と校長先生に言われて。辛い思いをした時の経験が自分の武器になるんだと気付きました。将来は、校長先生のような先生になりたいです。



— 実際働いてみて、先生1年目はいかがでしたか。



周りの環境に恵まれていると思います。色んな先生に丁寧に教えてもらったり、支えてもらったりと、とても充実した、楽しい教員生活を送っています。



— サッカー部の顧問をしているのですね。



部員は少ないですが、「サッカーを好きになってもらいたい」その一心で、皆で楽しくやっています。目標は県大会出場。そして部活動とおし、サッカーの技術だけではなく、人としても成長してくれたらと思っています。



— 広島県の先生を目指した理由を教えてください。



広島で育ちましたし、今の自分があるのは広島のおかげなので、地元で働きたいと思ったのが一番の理由です。県外の大学に行ったのですが、県外に出て初めて、広島は住みやすい街で、人に恵まれている良い県だと気がきました。



— 教員採用試験で大変だったことは。



「なんで教員になりたいんだろう」と自分を見つめ直す中で、自分の未来像が出てこない時は正直不安でした。あの時、こういう風になりたいんだとイメージを明確にできたので、先に進むことができたと思っています。



— 教員採用試験までにやっておいたほうが良いことは。



悔いのないように勉強することですね。あとは、模擬授業。教師になった時にどのようなことを大切に授業を行うか、というのを実践も交えながら練習すると、それが採用試験然り、その後も繋がってくると思います。



— 先生を目指す皆さんにエールをお願いします。



学校現場は、しんどいことや辛いこと、どうしたらいいだろうと悩むこともあります。それ以上にやりがいと楽しさを感じられるので、自分の夢にめがけて、悔いなく、努力を惜しまず頑張ってください。

養護教諭ってどんな仕事？

一人一人の頑張りが成長を感じられるのが嬉しい

保健室に来た児童に問診したり、授業中や休憩時間に校内をまわって児童の様子を見たりしています。学習面だけでなく、生活面や運動面等、児童一人一人の頑張りが成長を感じられるのが養護教諭の魅力です。養護教諭は一人配置の学校が多いですが、教職員をはじめ、保護者、教育委員会等、様々な方がサポートしてくださるので、安心して働くことができます。



生徒の成長を感じられるのが嬉しい

坂本 俊太 教諭

広島南特別支援学校 中学部 / 教員5年目



— 特別支援学校で働こうと思ったきっかけは。



中学校と塾が一緒だった車椅子の友達がいるのですが、その子と大学で再会したのがきっかけです。高校は特別支援学校に通っていたようで、そこから興味を持ち始めました。臨時採用で初めて声をかけてもらったのも特別支援学校で、現場に入ったらとても楽しかったので、そのまま志望しました。



— 実際に入ってみてどうでしたか。



最初は大変でしたが、子供達の成長のサポートができると分かってからはどんどん楽しくなりました。特別支援学校で働いて価値観や視野が広がったと思います。



復帰後も周りの人たちのサポートで仕事と家庭を両立

山口 詩帆 教諭

呉市立明立小学校 / 教員17年目



— 育児休業を取得されたと聞きました。



子供を出産したので、育児休業を取得しました。両親や家族等、周りの人にサポートしてもらいながら、教師を続けています。



— 仕事への復帰はスムーズにできましたか。



育児休業中にタブレット端末が導入されたので、復帰する時、ついていけるか正直心配でした。ですが、周りの先生が丁寧に教えてくれたので、スムーズに仕事できています。



— 現在、何年生を担当しているのですか。



4年生です。休日の出来事や好きな漫画の話等、児童が色々なことを話してくれるので、毎日楽しいです。子供らしい素直な一面を見ると可愛いなと思います。



— 坂本先生にとって、教職の魅力とはなんですか。



子供の成長を間近で見られるところと、自分自身も成長できることです。



— 先生になって5年経ちましたが、いかがですか。



気持ちは初任の頃と変わらず、毎日楽しく、生徒たちに助けをもらいながらやっています。授業で、生徒たちが「分かった」「他の授業でやったことと一緒にだね」と気付いてくれた時、「きちんと学習が繋がっているんだな」と感じ嬉しいです。特に特別支援学校の生徒は、繰り返し学びながら少しずつ成長していきます。その小さな成長に私が気づき、喜びを感じるようになったのが、この5年間で成長した部分かなと思っています。



— 教員採用試験を控える皆さんにメッセージを。



正直覚えるだけは面白くない、勉強が続かないと思います。私も勉強が続かなかった時期があったし、採用試験は4度目でやっと合格できました。教育現場ではこのようにやるんだとイメージしながら勉強すると、勉強がもっと楽しくなると思います。新しい先生と一緒に働いて、私自身も成長していきたいので、ぜひ広島県と一緒に働きましょう。



— 仕事と育児を両立する中で気付いた先生の仕事とは。



もちろん我が子の成長は可愛いし、嬉しいんですけど、育児と教育は全然違うと感じています。保護者の方に「先生の言うことじゃないと聞かないんです」とよく言われるのですが、我が子を見てまさにこのことかと思ったことがあります。なので、私が学校でちゃんと子供たちに話をしないといけないと、その大切さや重要性を再認識しました。



— 今までどのように壁を乗り越えてきましたか。



一人で悩んでいても仕方ないので、校長先生や教頭先生をはじめ、色んな先生に相談をしています。「今度はこうしたらいんじゃない」と助言をいただけるので、実践しながら前に進んでいます。



— 先生を目指す皆さんにメッセージをお願いします。



先生は大変だし、忙しい仕事です。ですが、一緒に頑張ってくれる人は周りにたくさんいます。困った時はいつでも助けられますし、喜びも大きい仕事なので、一緒に頑張っていきたいと思います。

インタビュー動画あり！
詳しくはコチラ

